

# 交野市教委ニュース

第86号（平成29年12月26日発行）

## 星のまち学園 3小学校交流会

12月14日（木）星のまち学園（第三中学校区）での小小連携の取組みの1つとして、星田小学校、妙見坂小学校、旭小学校の5年生が妙見坂小学校に集まり、ドッジボール大会を行いました。2年後には、第三中学校で一緒に勉強をすることになるかもしれない仲間たちと交流をしました。

### 三校（星小・妙小・旭小）の小小交流会のスタート



寒い日ではありましたが、晴天の下、開会式を行い、星のまち学園小小交流会をスタートさせました。まずは、ドッジボールのチームを決めました。

各チームにはそれぞれ3小学校の児童が均等に分かれ、この日に初めて出会った仲間と協力して、ドッジボールを行いました。

まずは、生徒会の先輩から説明を受けた後、引率されそれぞれの教室に移動。

朝のホームルームは小学校の担任の先生と一緒に過ごし、朝の読書タイムを行いました。

子どもたちは少し緊張した面持ちでしたが、これから始まる1日にワクワクしている様子でした。

### ドッジボールを通じての小小交流の様子



初めは遠慮気味にボールを投げたりしていましたが、体も心も温まってきた頃には、どの小学校ということとは関係なく白熱したドッジボール大会になりました。

ドッジボール大会が終わり、閉会式では、何人かの児童にマイクで感想を言ってもらうコーナーがありました。

その中で、「楽しかった」というコメントがどの児童からもありました。

マイクで感想を言ってくれた仲間に応じた拍手と歓声が起こっていました。

今後も、星のまち学園（第三中学校区）では小中一貫教育の大きな柱として、この小小連携の取組みを進めていきます。また、他の学園（中学校区）においても、同様に、小学校からの取組みを行っています。

小中一貫教育の推進には、この小小連携が大きな役割を果たします。今回はドッジボールという活動を通じて、同じ学園（中学校区）の仲間として、どこの小学校ということ意識せずに、誰とでも協力できるということを体験できました。

学園（中学校区）の連帯感が一層深まったと感じます。